

むさしのヒューマン・ ネットワークセンターだより



Vol.50

2015年3月25日

Contents

- トピックス（2014年は104位。世界から見る日本の男女平等の現状②）・・・①
- 講座報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・②～④
- 講座予告と事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑤
- 新着図書内容紹介&各種利用案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑥



Topics

2014年は104位。 世界から見る日本の男女平等の現状 ②

2006年の世界経済フォーラム（ダボス会議）で創設されたGGGI（世界ジェンダーギャップ指数）は男女不平等指数とも言われ、経済、教育、健康、政治の4分野の男女格差を毎年、指数化して各国の順位づけがなされています。2014年は4分野総合で142か国104位でした。前号の「そよ風」（2014年11月25日発行）でお伝えしたように今号では政治、経済分野を取り上げます。

<政治分野>

政治分野のジェンダーギャップ指数は①国会議員の男女比率、②女性の大臣級の比率、③過去50年の女性元首（首相または大統領）の在任期間の3つで決まります。この分野では142か国のうち日本はなんと129位。世界でも最低のランキングに位置します。ちなみにアジアで最高位の総合9位のフィリピンは17位、総合87位の中国は72位、総合117位の韓国は93位です。③の女性の元首については日本はもちろん論外です。昨年暮れの総選挙では女性国会議員が6名増えて、45名になりましたが、これでも全体の1割に満たない状況です。地方議会においても、女性議員の割合は11%が現状で、女性ゼロの自治体がまだ2割を超えています。（武蔵野市では現職23人のうち8人で34.8%が女性）クオータ制度（割り当て制度）を導入している国が多い中、日本ではまだ政党によっては導入や検討を行っている段階です。女性の活躍促進も国が「まずは隗より始めよ」で、スピードアップが急がれます。

<経済分野>

①労働率の男女比較、②同じ仕事の賃金の同等性、③男女の所得の推計値、④女性の管理的地位に占める

割合、⑤女性の技術職及び専門的職業に占める割合で指数が決まります。賃金については平成25年のフルタイムで働く女性の月額平均給与は男性を100

年	総合	政治分野	経済分野
2014	104	129	102
2013	105	118	104
2012	101	110	102
2011	98	101	100
2010	94	101	101
2009	101	110	108
2008	98	107	102
2007	91	94	97
2006	80	83	83

GGGIにおける日本のランキング推移

均給与は男性を100とすると72.2%で過去最高と発表されたばかりです（厚生労働省「賃金構造基本統計調査」）。この格差の原因は女性の方が非正規で働く割合が多いことや管理的地位の女性の割合が低いことなどです。管理的地位の女性の割合はまだ11.2%（総務省「労働力調査」）にすぎません。働く女性の約6割が非正規雇用、単身女性の3人に1人、シングルマザー等ひとり親世帯や65歳以上の半分が貧困状態である現状で、昨年10月に閣議決定された「女性活躍推進法案」に違和感を感じる人も多いのではないのでしょうか。国だけではなく多くの大手企業では様々なワーク・ライフ・バランス施策が整えられ、女性登用に向けて取り組みが盛んになってきましたが、日本全体でみるとすべての女性が輝くための環境整備はまだ道半ばです。2020年までに女性の管理的地位の割合を30%にという目標達成には厳しい状況です。女性の活躍には長時間労働是正を始めとし、働く環境の整備が急務なのです。

講座報告

映画「Girl Rising ～私が決める、私の未来～」上映会

◆日時：12月7日（日）第1回上映 10:00～／第2回上映 14:00～
◆場所：武蔵野プレイス4F フォーラム



この映画は10月11日国連の「女の子の日」のイベントとして武蔵野市はじめ全国17の男女共同参画センターで上映されました。アジア、アフリカ、中東、南米などの途上国での早すぎる結婚や女子教育、震災、カムラリ家事使用人、性的虐待等女の子が直面する現状と彼女らの持つ希望や可能性が描かれています。

ちょうどマララ ユスフザイさんのノーベル平和賞の授賞式が10日に行われる予定もあってか、親子や学生さんなどたくさんの市民の方々が参加され、熱心に視聴されました。違う国の女の子の実情を知り、平

和な国に住んでいる自分自身の今を考え、これから自分自身にとって何が大切なのか考えてみる機会となりました。

（*注 『Girl Rising～私が決める、私の未来～』は、国際NGO「プラン」の活動を行う公益財団法人「プラン・ジャパン」による途上国の女の子を応援するキャンペーン「Because I am a Girl」の一環で制作されたドキュメンタリー風オムニバス映画です）



<参加者の声>

世界には教育を受けたい、勉強をしてもできない女の子がたくさんいることを知り、日本にいる自分が当たり前のように勉強ができることに感謝をしたいと思います。

同じ時代を生きる同じ女性として自分にもできることを考えてみたいと思います。

「知っているも黙っているだけでは意味がない」というメッセージがとても突き刺さりました。“What can you do?”に答えられるようになりたいです。

講座「あなたの力と我が子のチカラを信じよう！」

◆日時：平成27年2月7日（火） 14：00～16：00
◆会場：武蔵野プレイス フォーラム
◆講師：川島 高之さん（コチカラ・ニッポン代表 ファザーリングジャパン理事）



元祖イクボスとしてメディアに頻繁に登場し、講演で全国を飛び回る川島さん。思春期のお子さんをもつ親に向け、子どもとの信頼関係の作り方に関心をあてた当講座には定員を上回る申込みがあり、ご夫婦や男性の参加が目立ちました。川島さんのアドバイスは、過干渉・過支配を避け、子どもに自分のことは自分で決めさせること、かつ、長期的視点を持つこと。

川島さんが提唱する子育ての「4つの根幹」、「我が子のチカラを信じる」「我が子から逃げずに向き合う」「社会のウィンドウになる」「笑っている親である」の話を聞き、参加者はグループで親としての悩みや心がけを議論。子どもの進路をめぐる夫婦喧嘩の反省や、臨場感あふれる親子バトルの話で会場は大いに盛り上がりました。

実は現役の会社社長でもある川島さんですが、意外なほど飾らない、“傾聴と共感の人”。その穏やかな語り口と、思春期にあるご自分のお子さんとのユーモラスなエピソードに、ホッとされた方も多かったのではないのでしょうか。終盤では“イクボス”と子育ての共通点にもふれられ、“イクボス”は理想の親子関係を考えるために役立つ、と好評を頂きました。



▲思春期パパママ同士、気軽に話し合う機会にもなりました。

<参加者の声>

父親として行うべきことがまだまだあると分かり、大変参考になった（男性）

“根幹”ではなく“個々の枝葉”に目を向け子どもにガミガミ言っていることに気づいた（女性）

“周囲の大人の価値観はそれぞれ違っていてもよい”という講師の言葉が印象に残った（女性）

他の親御さんと話してリアルな体験などを聞いたことがよかった（男性）

講座「男女平等参画条例」を考える～先進事例から～

- ◆日時：平成27年2月12日（木）14：00～16：00
- ◆会場：むさしのヒューマン・ネットワークセンター会議室
- ◆講師：堀内 光子さん（文京学院大学大学院教授、文京区男女平等参画推進会議会長）



女性たちが政治活動を禁じられていた明治44年、「元始女性は太陽であった」と平塚らいてうが掲げた『青鞥』創刊号は、現在の文京区千駄木で誕生。その精神は、平成25年11月「文京区男女平等参画推進条例」施行に結実したのでしょうか。むさしの男女共同参画市民協議会は、条例づくり尽力された堀内光子さんを講師に招き、条例の意義や制定過程、国際的な動向など話していただきました。

文京区条例の主な特徴は、①文京区らしさを備えている ②男女平等センターを拠点施設とした ③苦情の

申し立てに法的な仕組みを整備 ④人権侵害を禁止事項に規定 ⑤災害時対応に男女双方の視点 ⑥積極的改善措置の盛り込み、を挙げられました。条例の制定には「時期と人を得たことが大きかった」という講師の言葉を味方に、私たちも活動を続けていきます。



▲熱のこもったお話をしていただきました。

講座「自分にもう一つの生き方をプラスする講座」

- ◆日時：平成27年2月21日（土）14：00～16：00
- ◆会場：武蔵野商工会館 市民会議室ゼロワンホール
- ◆講師：芦沢 壮一さん（スキルノート代表）



自己紹介やプレゼンスキル講座の第一人者である芦沢さんを講師にお迎えし、女性の生き方について考える当講座は、定員に対し1.5倍の申込みを頂く人気で、関心の高さがうかがえました。

芦沢さんは「しごと」「かせぎ」「くらし」を柔軟に組み合わせ、それらの相乗効果を意識して生活をデザインする「パラレル・キャリア」という考え方を提唱しています。今回の講座では、芦沢さんのレクチャーを受けて、参加者同士がコミュニケーション（ワールドカフェ方式）を通してこの考え方を掘り下げ、ご自分のキャリア・生き方について、次のステッ

プを探しました。参加された皆さんが“ワールドカフェ”でイキイキと自分を語り、ほかの方々の話に耳を傾け、エールを送る姿がとても素敵でした。自分のこれから



▲レクチャーもワールドカフェも活気でいっぱい！

に考えていこう、という前向きな気持ちが出てくるような講座でした。

久しぶりに自分と向き合う時間をもてました。

世代を超えていろいろな方とお話しできて楽しかったです。

<参加者の声>

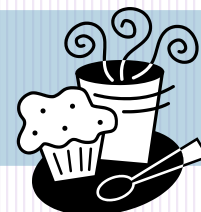


明日から、ただ悩むだけではなく、やれることから取り組んでいきます。

こんなにたくさんの女性のご自身のこれからのことについて考えているのだと驚き、心強く思いました。

「小さい子どもをもつお母さんのための講座」同窓会

- ◆日時：平成27年1月17日（土）13：00～15：00
- ◆会場：市民会館 和室



10月に全3回開催された人気講座「小さな子どもをもつお母さんのための講座」。約1か月にわたり顔を合わせ、加藤先生のジェンダー学の講義を共に受講したメンバーで、小さな“同窓会”を企画しました。10人の方が参加、お茶とお菓子を囲みおしゃべりに花を咲かせました。かつて同じようにヒューマン・ネットワークセンターの講座を受講し、その後、

子育て支援などの活動団体を立ち上げた“先輩”のお二人も参加、育休終了後の復職の相談をする方もありました。また、互いにご近所だと判明した方、日常の疑問を口にする方、夫婦・母娘関係の悩みや自分のこれからのこと・・・などなど話が尽きず、2時間があっという間。楽しくも有意義なひとときでした。

講座「ずっと輝いて生きたい女性のための健康とキレイの話」

◆日時：平成27年2月28日（土）15:00～17:00

◆場所：武蔵野商工会館 4F ゼロワンホール

◆講師：対馬ルリ子さん（産婦人科医 医学博士 医療法人社団ウィメンズ・ウェルネス理事長
対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座 院長）



長年多くの女性の体と心、社会のかかわりをみてこられた医師の対馬ルリ子さんを講師にお迎えしました。

戦前と比べ、長寿になったこと、高学歴で職業を持つ人が増えたこと、出産回数が減ったこと等女性のライフスタイルの変化により、今の女性はさまざまな体のトラブルがでてきているとお話からスタート。月経数が10倍になったことで、子宮内膜症、乳癌、卵巣癌など女性の病気が増えてきています。女性の体はエストロゲンとプロゲステロンという2つのホルモンの影響をうけることが多く、概ね50歳を過ぎるとこれらの女性ホルモンが急激に減少。これにより高血圧、高脂血症、頻尿や尿失禁、骨粗鬆症等になりやすい。女性は男性と比べると「うつ」も2倍。ホルモンの仕組みを知らないために、月経トラブルや更年期への対処が遅れたり、不妊になることも多いそうです。女性の気分や体調を

大きく変動させる女性ホルモン。まずは基礎体温を測ることなどで自分自身のホルモン状態を知ること、婦人科検診を受けること、HRT（ホルモン補充療法）等の女性ホルモン薬を上手に使うこと、

また大豆イソフラボン（エクオール）等のサプリメントを上手に取り入れて生涯健康の視点から今を考えて機嫌よくキレイで元気に暮らしていきましょうと締めくくられました。30代～70代までの参加者からたくさんの質問をいただき、女性の体と健康への関心の高さがうかがえました。



▲女性自身も知らないことが沢山！

日本の医療がそれぞれの専門家で縦割りであるが、女性の身体はホルモンにより全身関連があるので総合的な診察が必要。

女性ホルモンの重要さと偉大さがわかった。

<参加者の声>



現代のライフスタイルにあった健康チェックや対策が必要、ライフスタイルを見直すきっかけになった。

ホルモン療法を試して自分も周りも明るくしたい。

映画「マダム・イン・ニューヨーク」とフリートーク

◆日時：平成27年3月13日（金）13:00～16:00

◆会場：むさしのヒューマン・ネットワークセンター会議室



“元気が出る”女性映画の上映と鑑賞後のフリートークの講座。日本で昨年公開された「マダム・イン・ニューヨーク」を取り上げ、幅広い年齢の方々から定員を超える申込みを頂きました。

インドのごく普通の専業主婦シャシが姪の結婚式で出かけた初めてのニューヨーク。異国で直面した自分の中の劣等感や無力感、家族に対する不満。しかし彼女は、短期英会話クラスで仲間を作り、コンプレックスの英語をマスターすることで自ら克服していきます。女性なら誰もが共感してしまう、悩み

と挫折、小さな勇気とチャレンジのストーリーにはきっと勇気をもらえます（まだの方は5/21の再上映会で是非ご覧ください！）。

鑑賞後のフリートークも、インドのお茶“チャイ”を頂きながら盛り上がりました。映画の中で印象に残ったセリフや共感したことについて話すうちに、主人公同様の異国体験や家族に対する思い、自分が今チャレンジしていることなど、個人的なことまで次々に話せたのは、たった今、同じ映画に共感した者同士ならではの、という感じがしました。

いろんな年齢のいろんな価値観の方々との交流は、一瞬のことではありませんが、とても楽しい時間でした。

インド映画とチャイという組み合わせがよかった。



皆さんと共感することが多かったので、自分ひとりでないことがうれしかった。

映画がゆっくり見られて嬉しかった。託児付がありがたかった。

武蔵野市立第一中学校生徒さん、6人が来所！ テーマは「ワーキングマザー」

平成26年12月17日（水）午後、総合学習の一環として、2年生6人の生徒さんが当センターを訪問されました。生徒さんたちから事前にワーキングマザーの現状を調べた上で次のような質問をいただきました。

- 「育児休業制度」や「短時間勤務制度」について、どのような問題があるのか。
- 会社が行うべき支援は何か。
- むさしのヒューマン・ネットワークセンターではどのようなことをやっているのか。
- ワーキングマザーが働きやすい社会を作るためにはどうしたらいいか。

センタースタッフが、質問にお答えすべく、女性の現在の就労状況や育児休業法の内容について、男性の家事育児参加などのワーク・ライフ・バランスについて様々なデータをとおして、説明。日本の働くお母さんを取りまく実情を共有しました。最後に生徒さんの一人から「僕たちは何をすればいいでしょうか」の質問にスタッフは感激しました。まずは自分のお母さんの手伝いしたり、街中でベビーカー連れの困っている方々を見かけたら積極的に手助けすること等から始めてほしいと思います。



▲センタースタッフと一緒に

新着図書一覧

むさしのヒューマン・ネットワークセンターでは蔵書の貸出をしています。登録すれば、一人3冊まで、2週間借りることができます。HPで蔵書一覧が閲覧できます。お探しの本が見つかるかもしれません。どうぞご利用ください。 <http://www.mhnc.jp/>

書名 (50音順)	著者	出版社	出版年
あなたを輝かせるキャリアデザイン	広岡守穂 木本喜美子	中央大学出版部	2010
育休世代のジレンマ 女性活用はなぜ失敗するのか？	中野円佳	光文社新書	2014
イザ再就職！ 熱さこそ就活成功のカギ	坂巻美和子・辻俊之	北辰堂出版	2013
イスラームの性と文化	加藤博 編	東大出版会	2005
イスラーム世界のジェンダー秩序-「アラブの春」以降の女性たちの闘い	辻上 奈美江	明石書店	2014
お笑いジェンダー論	瀬地山角	勁草書房	2001
女はいつからやさしくなくなったか	中野節子	平凡社新書	2014
学校社会の中のジェンダー	木村育恵	東京学芸大学出版会	2014
経済政策で人は死ぬか？ 公衆衛生学から見た不況対策	デヴィッド・スタックラー サンジェイ・パス	草思社	2014
古代の女性官僚	伊集院葉子	吉川廣文館	2014
子連れシングルと子どもたち	神原文子	明石書店	2014
ジェンダー・クォーター：世界の女性議員はなぜ増えたのか	三浦まり 衛藤幹子 編著	明石書店	2014
少子化時代の良妻賢母	S.D.ハロウェイ	新曜社	2014
シングルマザーの貧困	水無田気流	光文社新書	2014
世界の女の子白書	電通ギャルラボ	木楽舎	2013
なかったことにしたくない 実父から性虐待を受けた私の告白	東小雪	講談社	2014
日本女子大学生の世の中ウオッチ	是恒香琳	パド・ウィメンズ・オフィス	2014
ピケティ入門～「21世紀の資本」の読み方	竹信三恵子	金曜日	2014
もっと楽しく少しだけ丁寧なお母さん仕事	猪熊麻子	ワニブックス	2014
養護教諭の社会学	すぎむら なおみ	名古屋大学出版会	2014

Pick-Up

センターで最近購入された本の中から



なかつたことにしたくない
 実父から性虐待を受けた私の告白
 東 小雪 著 講談社

自らレズビアンであると公表した著者。その半生の壮絶な性被害体験を克服してなお真摯に生きようとする強さには胸を突かれます。
 (右記フォーラムで講演会を予定)



イスラーム世界のジェンダー秩序
 「アラブの春」以降の女性たちの闘い
 辻上 奈美江 著 明石書店

2010年末から始まった中東の「アラブの春」は一直線に民主化につながらず、女性たちは混乱の中どう生きているか。現在の中東をジェンダーの視点から捉える貴重な一冊です。

予告 ●5月のセンター講座●
 詳細は4/15市報またはセンターHPをご覧ください!



- 「貧困女子時代のマネー管理術」(仮称) (5/16)
 貯蓄、節約術、社会制度等のお金の管理知識を学び将来の不安の軽減に向けた女性のためのマネー講座です。
- 「マダム・イン・ニューヨーク」上映会 (5/21)
 インド発・爽やかな感動を呼ぶ女性映画。好評につき再度の上映会が決定。託児枠を拡大してお届けします。

秘密
厳守

悩みごと相談

無料

-ひとりで悩まずに、まずは相談を-

- 女性総合相談…50分まで面談または電話・予約制
 第2木曜日 (10:00～、11:00～)
 第4火曜日 (13:00～、14:00～、15:00～)
 ★場所・問い合わせ
 市民活動推進課市民相談係 (市役所西棟7階)
 ☎60-1829 ☎60-1921 (予約専用)
- ひとり親・女性相談
 月～金曜日 (9:00～17:00 祝日・年末年始を除く)
 ★場所・問い合わせ
 子ども家庭支援センター ☎60-1850

2015年 男女共同参画フォーラムが開催されます。

「男女共同参画週間」にあわせて今年も武蔵野市では6月20日(土)～28日(日)の9日間、市民とむさしのヒューマン・ネットワークセンターが共同で男女共同参画フォーラムを開催します。

今年のメインテーマは「育てあうまち武蔵野」。基調講演会では、信田さよ子さん(原宿カウンセリングセンター)にお話し頂きます。元タカラジェンヌ又東小雪さんを迎え、多様な性や幼時性虐待について語って頂く会もあります。今話題のイスラムについて、サウジアラビアの女性監督映画「少女は自転車に乗って」上映会と、イスラムと女性についての専門家の講演もあります。男女平等条例についてのパネルディスカッション、『源氏物語をジェンダーで読み解く』講座のほか、市民公募の企画や子どもと遊びの企画も予定しています。

この間、プレイスギャラリーでは武蔵野女性史や団体アピールのパネル展示も行います。多彩なフォーラムにどうぞご期待下さい。詳細は今後、市報やむさしのヒューマン・ネットワークセンターのホームページをご覧ください。

バス研修「男女共同参画推進団体交流会」

- ◆日程：平成26年11月19日(水)
- ◆行程：高崎市市民活動センター
 群馬県立近代美術館 他



平成20年に男女共同参画条例を制定した高崎市の男女共同参画センターの視察をメインに、晩秋の上州を訪れました。

高崎市の担当課から、多くの市民の協力を得た条例検討の経緯および制定後の成果や、市民への周知や事業所への浸透の難しさといった課題も示され、武蔵野市の条例制定へ向けて参考になる点の多い内容でした。午後は、利根川沿いで絶景の群馬県庁へ立ち寄り、近代美術館でピカソのゲルニカ鑑賞と、多くの学びを得た一日でした。



▲熱心に質問をしています。

● センター利用案内 ●

開館時間：月～土曜日 9:30～17:00
 休館日：日曜日・祝日、年末年始

会議室利用時間：《午前》10:00～13:00《午後》13:30～16:30

- 利用料無料。2カ月前より予約可。ひと月二回まで●
- フリースペースはどなたでもご利用頂けます●

● 発行 ●

むさしのヒューマン・ネットワークセンター
 武蔵野市境 2-10-27 武蔵野市政センター2階
 電話/FAX：0422-37-3410
 E-mail：mhnc@tokyo.email.ne.jp
 HP：http://www.mhnc.jp/
 講座の最新情報をUPしています。是非ご覧ください。

ご存知ですか。『まなこ』

武蔵野市の男女共同参画の冊子です。No.93が3月12日に発行されました。今回のテーマは「より良いパートナーシップを考える」です。当センターをはじめ市役所、市政センター、図書館、コミセン、駅等市内の約450か所に置かれますので是非手に取ってご覧ください。